

3 「やまぐち型地域連携教育」の核となるコミュニティ・スクールの推進

1 コミュニティ・スクール推進について本県のスタンス

- ◎ 県教委では、山口県教育振興基本計画に「10の緊急・重点プロジェクト」として「地域ぐるみの教育推進プロジェクト」を掲げ、コミュニティ・スクールが核となり、「地域協育ネット」の仕組みを生かして、各中学校区で地域のネットワークを形成し、学校、家庭、地域が連携・協働することにより、社会総がかりで子どもたちの学びや育ちを見守り支援する「やまぐち型地域連携教育」を推進している。
- ◎ 推進に当たっては、義務教育課と社会教育・文化財課が緊密に連携するとともに、全県的な協議会を設置することにより、市町教育委員会と連携しながら、推進体制の強化を図る。
- ◎ 平成27年4月1日付で90%を超えた県内小・中学校の学校運営協議会の設置率の早期100%達成をめざすとともに、取組内容も一層充実するよう、市町教育委員会及び学校を支援していく。
- ◎ 推進の核となる人材を配置し、コミュニティ・スクールの水準向上や小中連携の取組の充実を図る。
- ◎ コミュニティ・スクールは、保護者や地域住民のニーズを迅速に学校運営に反映させ、学校・家庭・地域が一体となってよりよい教育を実現していく有効な手段の一つであることを好事例の紹介と合わせて、広報・啓発していく。

2 山口県の現状

【コミュニティ・スクールに指定されている学校】

■小・中学校 420校 (93.1%) 平成27年10月1日現在

3 県教委の主な取組

- 「山口県コミュニティ・スクール推進協議会」の開催による県の取組方針や各市町の課題等の協議（対象：19市町代表、有識者、小中校長会長等 開催：2回）
- 「山口県コミュニティ・スクール推進フォーラム」（文部科学省の「地域とともにある学校づくり推進フォーラム」と合同開催）、「やまぐち地域連携教育研修会」（県内7地域）、「山口県『地域教育力日本一』研修会」の開催による、コミュニティ・スクールや「地域協育ネット」についての県民への周知及び気運の醸成
- 「山口CSコンダクター」の配置（13市）による各学校運営協議会や小・中学校が合同で開催する学校運営協議会の指導・支援
- やまぐちコミュニティ・スクール実践事例集の作成・配付（3月末）
- 地域住民の理解、参画の推進に向けた住民意識調査の実施（県政世論調査・モデル中学校区等）



山口県コミュニティ・スクール推進フォーラムにおけるパネルディスカッション（H27.12.19）

4 成果

- 学校運営の充実や学校教育の質の向上をめざして、学校と家庭・地域が協議を重ねることにより、相互の結び付きが強まってきた。
- 学校を開くことにより、地域の学校への理解・協力が進み、学校支援が充実するとともに、学校の地域貢献も積極的に行われ、多くの学校で、地域の方の来校者数が増加してきた。
- 児童生徒が地域（ふるさと）とのつながりを感じる機会が増え、地域に誇りと愛情をもつようになるとともに、自らが地域に貢献しようという意識の高まりが見られるようになってきた。

5 今後の取組の方向

- より多くの教職員や保護者、地域の方の参画により、学校・家庭・地域が一体となって、コミュニティ・スクールの取組を一層充実させていく。
- 学校教育と社会教育部局の連携、教育委員会と首長部局との連携により推進体制をさらに強化するとともに、研修会の充実や広報・啓発等により、取組の周知及び推進の気運の醸成を図る。

6 文部科学省等最近の動き

■ 平成 27 年 3 月 4 日 教育実行再生会議第 6 次提言

- コミュニティ・スクールの未導入地域における取組の拡充や、学校支援地域本部等との一体的な推進
- 地域と相互に連携・協働した活動を展開するための抜本的な方策
- コミュニティ・スクールの仕組みの必置についての検討促進 等

■ 平成 27 年 4 月 14 日～ 中央教育審議会への諮問

「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方について」

- 新しい時代の教育や地方創生を実現するために求められる今後のコミュニティ・スクールの在り方や、それを踏まえた総合的な推進方策等について
- 学校と地域がパートナーとなり、連携・協働体制を築くための地域人材の養成と環境整備について

■ 平成 27 年 12 月 21 日 中央教育審議会 答申

「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について」

- コミュニティ・スクール（CS）を推進・加速するとともに、地域学校協働活動（「地域学校協働本部の設置」）を推進する。

■ 平成 28 年 1 月 25 日 文部科学大臣発表（馳プラン）

「次世代の学校・地域」創生プラン ～学校と地域の一体改革による地域創生～

- 中央教育審議会 3 答申（平成 27 年 12 月 21 日）の内容の具体化を強力に推進する。

- ・「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について」
- ・「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について」
- ・「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について～学び合い、高め合う教員養成コミュニティの構築に向けて～」

- 「次世代の学校・地域」が両輪となった体系的な施策を展開する。